

長畑ひろのり



News vol. 175

こども誰でも通園制度

6月定例議会における質問①

右見出しは、5月31日付け産経新聞朝刊からです。その記事から一部引用します。

新制度は親の終了時間を問わず、誰でも時間単位で保育所を利用できるようにするもので、子育て世帯の育児負担を軽減する狙いがある。保育所は従来、親の仕事や病気など「保育の必要性」が認められなければ入園できず、支援を得られない親が孤立したり、虐待につながったりするリスクが指摘されていた。

今年度、50施設でモデル事業
こども誰でも通園8年度実施

記事の内容は、2月定例議会において私が一般質問で行なった「こどもを取り巻く環境について（詳細は、QRコードより）」の中で提案したものに近く、その時の質問は以下の通りです。

【長畑質問】 地域と繋がりのない未就園の子ども達の虐待は防げないのか、虐待までいかないまでも子育て放棄に近い家庭があった場合、子ども達を守ることはできないのか。それらを防ぐためには、これまでの取り組みをもう一歩前に進めなければならないと思う。そこで提案だが、未就園児を定期的に本市の公立園で週一回でも預かる仕組みづくりはできないか。



vol.172

【子ども未来部長答弁】 認定こども園や保育所等に入所してなくても、保護者の病気やリフレッシュ等のため一時的に子どもを預かる一時預かり事業を市内10の民間園で実施している。一方で、待機児童・保留児童の解消に至っておらず、保育士等の確保に努めている中、現在のところ、事業の拡充や創設が難しい状況。

答弁を理解しつつも納得はできず、検討してほしいと要望で終わりました。しかし、政府が私の考えに近い「こども誰でも通園」を掲げたことにより、改めて6月定例議会一般質問で取り上げました。

・こども誰でも通園制度について

【長畑質問】 昨年2月定例議会において私が一般質問で行なった時の答弁（左下の枠内参照）は、今も変わらないのか。

【子ども未来部長答弁】 変わっていないが、この度の「(仮称)こども誰でも通園制度」のモデル事業については、議員の示す虐待につながるリスクの対応にもつながるとの背景もあることから、その動向を注視していく考え。

【長畑要望】 配置基準（保育士1人当たりが対応できる子どもの人数）の見直しの可能性に加え、「こども誰でも通園制度」が令和8年度の実施となると、既に民間園も含め保育士確保が困難な中、ここ数年はもっと厳しい状況になるのは目に見えている。それでも本市として、民間園も含め保育士確保を目ざさなければならない。

となると、これまでも保育士に対する優遇は色々と取られてきているが、新たな保育士確保のための施策が必要と思う。無理を言うが、本市がここを乗り切れるかどうかで、将来の人口ビジョンも変わってくるのは間違いない。

政府が「次元の異なる少子化対策」を打ち出してくる中、本市においても「こどもまんなかまちづくり」をすすめ、こどもの遊び場の確保や、親同士・地域住民との交流を生み出す空間の創出などの取り組みのさらなる充実を図り、未就園のこどもを持つ家庭への取り組みにおいても「こども誰でも通園制度」などで、現況を踏まえつつ保育園やこども園などの地域資源の活用を模索頂きたい。

また、制定されたこども基本法を基として「少子化対策」「次世代育成」「こどもの貧困対策」を一元化したこども大綱が策定される中、国の「こども未来戦略会議」の結果を注視しつつ、2030年までの少子化対策をラストチャンスとして、自治体に投げられた課題については本市としても精一杯対策を練って進めて頂くことを要望する。

文章は、弱視の方にも読みやすい可読性に優れたユニバーサルデザインフォントを使用しています。

長畑ひろのり事務所 Fax 072-877-1280

e-mail sky@nagahata.jp

<http://nagahata.jp>



812市区における本市実力

東洋経済が発行している「都市データパック2023」より報告します。2023年6月時点で、全国にある792市と特別区（東京23区）のうち、千代田区、中央区、港区の3区を除外した812市区が対象です。



・住みよさランキング

住みよさランキングは、さまざまな分野の公的統計を用いて算出した“都市力”を表したものです。住民の生活場面に応じた「安心度」「利便度」「快適度」「富裕度」の4つの視点から、20のデータを用いて算出しています。

表①は、本市のカテゴリー別全国順位で、5年間の比較です。「利便度」がとて良くなっています。

①

安心度 (550位 → 613位 → 584位 → 575位 → 582位)
 利便度 (486位 → 466位 → 476位 → 477位 → 340位)
 快適度 (457位 → 218位 → 283位 → 344位 → 327位)
 富裕度 (560位 → 504位 → 514位 → 497位 → 557位)

表②は、全国における総合順位で、本市を含む北河内7市に、参考として全国上位3市と下位3市、そして、大阪府内上位2市も載せています。

本市5年間を比較すれば、「668位 → 570位 → 585位 → 590位 → 570位」となり、北河内7市の中では、2位と健闘しています。

②

総合順位	市名(都道府県)	カテゴリー順位			
		安心度	利便度	快適度	富裕度
1	野々市(石川)	248	8	89	163
2	武蔵野(東京)	782	5	104	1
3	福井市(福井)	188	40	288	35
43	大阪(大阪)	808	9	46	29
46	箕面(大阪)	354	423	79	58
508	守口(大阪)	748	145	256	387
570	四條畷(大阪)	582	340	327	557
600	枚方(大阪)	669	726	187	345
688	交野(大阪)	547	793	255	502
704	寝屋川(大阪)	775	339	199	563
733	門真(大阪)	809	116	406	438
744	大東(大阪)	757	570	393	433
810	志摩(三重)	522	456	799	778
811	鉾田(茨城)	616	775	751	736
812	行方(茨城)	524	764	810	680

本市「分野ごとのデータと順位(上位3項目)」

【人口・世帯】

- ・可住地人口密度 4,847.1人/km² 120位
- ・人口密度 2,943.6人/km² 149位
- ・生産年齢人口比率 60.75% 152位

【産業・事業所】

- ・新設住宅着工戸数
増減率(前年比) 20.2% 256位
- ・小売業
年間1人当たり販売額 102.6万円 291位
- ・小売業従業者数 3,337人 413位

【所得・住宅・自動車】

- ・通勤時間(持家世帯) 45.5分 107位
- ・住宅地平均地価(m²) 12.43万円 114位
- ・商業地平均地価(m²) 20.40万円 128位

【医療・福祉・環境・安全】

- ・汚水処理人口普及率 99.8% 63位
- ・下水道使用量(1カ月) 2,778円 181位
- ・水道料金(1カ月) 3,707円 397位

全国総合順位 府内各市の順位

- 43 大阪府 大阪狭山
- 46 大阪府 箕面
- 55 吹田
- 129 豊中
- 140 池田
- 204 茨木
- 251 泉佐野
- 277 大阪狭山
- 348 高槻
- 409 摂津
- 426 堺
- 453 高石
- 508 守口
- 570 四條畷
- 600 枚方
- 601 東大阪
- 623 八尾
- 638 泉大津
- 650 藤井寺
- 664 泉南
- 688 交野
- 677 貝塚
- 704 寝屋川
- 733 門真
- 744 大東
- 746 羽曳野
- 752 柏原
- 767 岸和田
- 771 富田林
- 792 河内長野
- 804 松原
- 807 阪南

ひろのり物語 ⑮

絵:長畑ひろのり

